

あしたか通信

平成 29 年 12 月 22 日 通算 68 号 発行：静岡県立あしたか職業訓練校

vol.68

第38回全国障害者技能競技大会 縫製競技 銀賞受賞



今年も残すところ 10 日ほどとなりました。皆様には、お忙しい日々を送られていることと思います。

訓練生は、これまで毎日の訓練や寮での共同生活を通して、就職に向けて多くの知識・技能や社会生活でのマナーを身に付け、中には行動面でも見違えるほど大きな成長が見られる訓練生もいます。

11 月の体育祭では、事前準備はもちろん、訓練生自らが放送で進行案内を行い、各競技では、保護者の皆様も交えて気持ちの良い汗をかくことができました。訓練生の生き生きとした躍動感や仲間を応援する一体感からは、一人一人の新たな可能性を感じることができました。自分の役割を無事に済ませて自信をつけた訓練生もいたのではないのでしょうか。

さて、就職活動は佳境を迎え、すべての訓練生が企業面接や職場実習を行い、既に就職した者や内定を得た訓練生もいます。最初の実習で自分の実力を発揮できなかった訓練生も、次の機会にはうまくいくよう本校としても、職員一丸となって、できる限りの支援を行います。来年の修了式までには訓練生全員が就職できるよう努力して参ります。

本校での 1 年間は、訓練生にとって社会的自立や就職に向けた大切な期間であり、自分自身を成長させる大きなチャンスでもあります。訓練生には、これまでの成果に満足することなく、修了式までの一日一日を、成長と積極性を心掛けて過ごし、目的達成に向け努力することを期待しています。

御家族の皆様方も、これまでの訓練や寮生活での成果と課題について訓練生とともに振り返り、これからの目標について、どのようにしたら達成できるのか、じっくりと訓練生の話に耳を傾けてください。

2018 年という新しい年が皆様にとって、希望に満ちた輝かしい年となることを職員一同心からお祈り申し上げます。

平成 29 年 12 月 22 日

校長 野村 芳一

校内行事

★体育祭



11月10日(金)、あしたか太陽の丘体育館で体育祭を行いました。訓練生、保護者、職員の参加のもと、綱引き、パン食い競争、リレー等の競技に、白熱した戦いが行われました。今年は最後のリレーまで勝負が決まらない白熱した接戦が続きました。最終競技のリレーで白組が勝利し、優勝が決定しました。両組とも全力を出し切り、団結力を高めることができた一日でした。

★野外訓練



12月15日(金)、中庭にて野外訓練を行いました。飯ごうでご飯を炊き、カレー、豚汁、焼きそばを作りました。材料や調理方法を訓練生自身が考え、かまどを作り、食材の下ごしらえから調理まで、訓練生全員が主体的に取り組みました。協力して出来上がった料理は、昼休みにおいしくいただきました。

競技大会

★第 37 回全国障害者技能競技大会



11月17日(金)から11月19日(日)までの3日間、栃木県において開催された第37回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック)において、訓練生4名が縫製、木工、製品パッキング、ビルクリーニングのそれぞれの種目に出場しました。9月以降、全国大会の課題に向けて本格的に訓練を行いました。

縫製競技では、流通・環境コースの野沢さんが日頃の訓練の成果を発揮して銀賞を獲得しました。また、他の3名の訓練生も大いに健闘しました。この全国大会で得た経験は、残り少なくなった訓練校での生活や就職後にも活かされることと思います。

★平成 30 年度入校生募集

第3回入校選考の受付が始まりました。施設見学の受付も随時行っています。

選考日 平成 30 年 1 月 26 日 (募集期間 平成 29 年 12 月 4 日～平成 30 年 1 月 12 日)

各科・コースの訓練風景

コンピュータ科

11月の日商簿記検定3級に向けての授業やExcelVBAを使ったオセロゲームの作成、就職先で必要となるWordやExcel等の実践的な訓練を行いました。訓練生一人一人が自主的に目標を設定し、必要な技能を取得するために日々学習を続けています。就職活動では、合同面接会や職場実習を通じて、少しずつ全員の方向性が見えてきました。修了まで残り少なくなりましたが、就職に向けた技能の向上と資格の取得を目指して努力をしていきます。



生産サービス科 機械操作コース

機械操作コースでは、アビリンピック県大会で優勝した1名が全国大会ビルクリーニング競技に参加し健闘しました。訓練期間後半は旋盤やフライス盤などの大型工作機械の操作が実習の主となり訓練生も真剣に授業を受けています。安全性がかなり必要となるため、実習場は緊張感に包まれています。就職活動も意欲的に行っており、特に職場実習については企業担当者から高い評価を得た者も出てくるなど期待感に満ちています。希望する企業等に就職できるよう、修了までしっかりと訓練を行います。



生産サービス科 加工組立コース

工場での流れ作業を想定した部品の組立分解作業や、手作業の速さを身に付けるためのねじ締め作業で、タイムを競い合いました。銅線のはんだ付け作業では、はんだごての使い方を習得しました。加工寸法や速さを意識した細かい作業により集中力が鍛えられました。体育祭の競技道具の一部は、加工組立コースの訓練として、竹を電動ノコギリやナタ等で加工しやすりを使って仕上げました。これらの工具は安全性が必要なため、緊張感を持って作業を行いました。残り数ヶ月、一人一人が社会人としての自覚を持って訓練に望みます。



生産サービス科 流通・環境コース

9月からは「流通サービス実習」として、接客マナー、ラッピング、レジ操作、事務補助作業、室内装飾等の訓練を行っています。今まで簡単そうだと思っていた『大きな声で挨拶し笑顔で接する』ということを実践することの難しさに直面し、また、事務補助作業では、手紙の封入作業をより正確に速く行えるようタイムを計りながら、自分で工夫を重ねています。このような訓練を、仕事に対する意識の向上につなげ、成長していきます。

